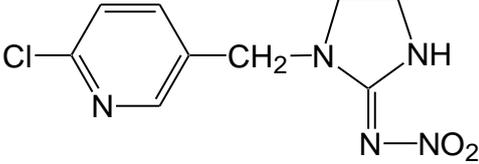


5. 対象農薬の諸元

表 5-1 イミダクロプリドの情報

名称	イミダクロプリド			
化学名	1-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-N-ニトロイミダゾリジン-2-イリデンアミン			
CAS No.	138261-41-3			
化学式	C ₉ H ₁₀ ClN ₅ O ₂	分子量	255.7	
構造式				
概説	<p>日本バイエルアグロケム(株) (現バイエルクロップサイエンス社) がニトロメチレン骨格をもつ化合物を基にして開発したネオニコチノイド系殺虫剤で、1992年11月に登録された。高い殺虫活性、浸透移行性、残効性を有し、作物の薬害がほとんどない。</p> <p>代表的商品名：アドマイヤー、タフバリア等</p>			
物性・性状	外観等	無色結晶、弱い特異臭		
	融点(沸点)	144℃	蒸気圧	2×10 ⁻⁷ Pa (20℃)
	水溶解度	4.8×10 ⁵ μg/L (20℃)	オクタノール/水分配係数	logPow =0.57 (21℃)
	土壌吸着係数	Koc= 175.0 - 376.2 (25℃)	生物濃縮性	—
	加水分解性	分解せず (pH5、7 25℃) 半減期 355日 (pH9 25℃)		
	水中光分解性	半減期 57分 (滅菌緩衝液、25℃、0.89-0.95W/m ² 、310-400nm) 61分 (自然水、25℃、78.62W/m ² 、270-400nm)		
安全性	急性経口毒性は LD ₅₀ : 440mg/kg (ラット♂)、410mg/kg (ラット♀)、100mg/kg (マウス♂)、98mg/kg (マウス♀)			
生産量	原体の出荷量は、80.8t (平成28年度*)、82.0t (平成29年度*)、85.0t (平成30年度*) *年度は農薬年度			

出典：農薬ハンドブック 2016年版一般社団法人日本植物防疫協会

農薬要覧-2019- 一般社団法人日本植物防疫協会

国立研究開発法人 国立環境研究所 化学物質データベース

URL: https://www.nies.go.jp/kisplus/src_chem/chem/

環境省水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/349imidacloprid_1.pdf

環境省水質汚濁に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/odaku_kijun/rv/a05_imidakuropurido.pdf

表 5-2 クミルロンの情報

名称	クミルロン			
化学名	1-(2-クロロベンジル)-3-(1-メチル-1-フェニルエチル)ウレア			
CAS No.	99485-76-4			
化学式	C ₁₇ H ₁₉ ClN ₂ O	分子量	302.8	
構造式				
概説	<p>日本カーリットと丸紅が共同で開発したカヤツリグサ科に卓効を示し、環境に対して安全な尿素系の除草剤。昭和 59 年に日本カーリットと宇都宮大学農学部附属雑草防除研究施設とも共同研究により見いだされ、一年生及び多年生のカヤツリグサ科雑草に卓効を示し、防除困難なクログワイおよびシズイにも有効であることが確認されている。水稻に対する選択性は高く、水稻に対する薬害はほとんど認められない。またスルホニルウレア系除草剤の薬害を軽減する効果も有している。商品名はガミーラ、マックワン。</p>			
物性・性状	外観等	白色粉末、無臭		
	融点（沸点）	166±0.5℃ (282±0.5℃)	蒸気圧 8.0×10 ⁻¹⁵ Pa (25℃)	
	水溶解度	879 µg/L (20℃)	オクタノール/水分配係数 logPow = 2.61	
	土壌吸着係数	K _F ^{ads} _{oc} = 610-850 (20℃) (日本土壌)、K _F ^{ads} _{oc} = 500-940 (25℃)、(外国土壌)	生物濃縮性	BCF _{ss} = 37
	半減期	加水分解性	半減期 1,500 日 (pH5、25℃)、2,800 日 (pH9、25℃) 統計学的に有意な分解は認められず算出できない (pH7、25℃)	
	水中光分解性	15 日間安定 (滅菌緩衝液、pH7.0、25℃、159±10 W/m ² 、290-759 nm) 半減期 約 222 日 (東京春季太陽光換算 444 日) (滅菌自然水、pH7.45、25℃、159±10 W/m ² 、290-759 nm)		
適用法規等	化管法第 2 条第 1 種指定化学物質			
安全性	<p>人畜毒性は普通物。急性経口毒性 LD50 : 2,074 mg/kg (ラット、オス)、961 mg/kg (ラット、メス)、5,000 mg/kg (マウス、オス・メス)、コイに関する 48 時間後の TLm 値は>48.85 ppm、ミジンコに対する 48 時間後の TLm 値は>48.85 ppm</p>			
生産量	<p>原体の出荷量は、19.1t (平成 28 年度*)、17.8t (平成 29 年度*)、16.5t (平成 30 年度*) *年度は農薬年度</p>			

出典：農薬ハンドブック 2016 年版一般社団法人日本植物防疫協会

農薬要覧-2019- 一般社団法人日本植物防疫協会

国立研究開発法人 国立環境研究所 化学物質データベース

URL: https://www.nies.go.jp/kisplus/src_chem/chem/

環境省水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/ki_jun/rv/349imidacloprid_1.pdf

環境省水質汚濁に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/odaku_ki_jun/rv/a05_imidakuropurido.pdf

表 5-3 クロチアニジンの情報

名称	クロチアニジン		
化学名	(E)-1-(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イルメチル)-3-メチル-2-ニトログアニジン		
CAS No.	210880-92-5		
化学式	C ₆ H ₈ ClN ₅ O ₂ S	分子量	249.7
構造式			
概説	<p>武田薬品工業(株) (現住友化学(株)) が創製開発したネオニコチノイド系殺虫剤で、非食用として1995年11月、食用として2002年2月に登録された。チョウ目、半翅目、双翅目、アザミウマ目害虫など幅広い害虫に低薬量で卓効を示す。</p> <p>代表的商品名：ダントツ、フルスウィング、ベニカ等</p>		
物性・性状	外観等	無色粉末、無臭	
	融点 (沸点)	176.8℃	蒸気圧 1.3×10 ⁻¹⁰ Pa (25℃)
	水溶解度	3.27×10 ⁵ μg/L (20℃)	オクタノール/水分配係数 logPow = 0.7 (25℃)
	土壌吸着係数	K _F ^{ads} _{oc} = 90-250 (25℃)	生物濃縮性 -
	加水分解性	1年間安定 (pH4、5、7 25℃) 1年間安定 (蒸留水 25℃) 1年間安定 (pH7.8 25℃) 12週間安定 (pH4、5、7 50℃) 半減期 9年 (自然水、pH7.8 25℃) 1.5年 (pH9 25℃) 93日 (蒸留水、50℃) 73日 (自然水、pH7.8 50℃) 14日 (pH9 50℃)	
	水中光分解性	半減期 40-42分 (東京春季太陽光換算31-33分) (滅菌蒸留水、25℃、1.8mW/cm ² 、360-480nm) 46-47分 (東京春季太陽光換算36-37分) (自然水、pH7.4、25℃、1.8mW/cm ² 、360-480nm) 54-58分 (東京春季太陽光換算42-46分) (自然水、pH7.7、25℃、1.8mW/cm ² 、360-480nm) 49-54分 (東京春季太陽光換算38-42分) (自然水、pH7.8、25℃、1.8mW/cm ² 、360-480nm)	
安全性	急性経口毒性はLD ₅₀ : >5000mg/kg (ラット♂)、>5000mg/kg (ラット♀)、389mg/kg (マウス♂)、465mg/kg (マウス♀)		
生産量	原体の出荷量は、78.2t (平成28年度※)、75.9t (平成29年度※)、74.8t (平成30年度※) ※年度は農薬年度		

国立研究開発法人 国立環境研究所 化学物質データベース

URL: https://www.nies.go.jp/kisplus/src_chem/chem/

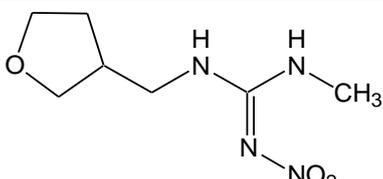
環境省水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

URL: <http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/302clothianidin.pdf>

環境省水質汚濁に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/odaku_kijun/rv/k07_clothianidin.pdf

表 5-4 ジノテフ란の情報

名称	ジノテフ란			
化学名	(RS)-1-メチル-2-ニトロ-3-(テトラヒドロ-3-フリルメチル)グアニジン			
CAS No.	165252-70-0			
化学式	C ₇ H ₁₄ N ₄ O ₃	分子量	202.2	
構造式				
概説	<p>三井化学アグロ(株)が開発したネオニコチノイド系殺虫剤で、2002年4月に登録された。既存剤の化学構造とは異なりテトラヒドロフリルメチル基を有し、分子内にハロゲン原子を含まない。</p> <p>吸汁加害する半翅目害虫などに効果を示す。</p> <p>代表的商品名：スタークル、アルバリン等</p>			
物性・性状	外観等	白色結晶、無臭		
	融点(沸点)	107.5℃	蒸気圧	<1.7×10 ⁻⁶ Pa (30℃)
	水溶解度	4.0×10 ⁷ μg/L (pH6.98、20℃)	オクタノール/水分配係数	logPow=-0.549(25℃)
	土壌吸着係数	Koc= 23.3 - 33.6	生物濃縮性	—
	加水分解性	半減期 1年以上(pH4、7、9 25℃)		
	水中光分解性	半減期 3.8時間(蒸留水、25℃、400W/m ² 、300-800nm) 3.8時間(自然水、25℃、416W/m ² 、300-800nm)		
安全性	急性経口毒性はLD ₅₀ : 2,804mg/kg(ラット♂)、2,000mg/kg(ラット♀)、2,450mg/kg(マウス♂)、2,275mg/kg(マウス♀)			
生産量	原体の出荷量は、156.8t(平成28年度*)、156.8t(平成29年度*)、167.0t(平成30年度*) *年度は農業年度			

出典：農業ハンドブック 2016年版一般社団法人日本植物防疫協会

農業要覧-2019- 一般社団法人日本植物防疫協会

国立研究開発法人 国立環境研究所 化学物質データベース

URL: https://www.nies.go.jp/kisplus/src_chem/chem/

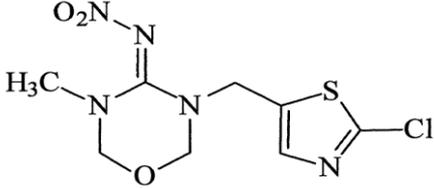
環境省水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/ki_jun/rv/350dinotefuran_1.pdf

環境省水質汚濁に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/odaku_ki_jun/rv/s03_dinotefuran.pdf

表 5-5 チアメトキサムの情報

名称	チアメトキサム			
化学名	(E Z) - 3 - (2 - クロロ - 1, 3 - チアゾール - 5 - イルメチル) - 5 - メチル - 1, 3, 5 - オキサジアジナン - 4 - イリデン (ニトロ) アミン			
CAS No.	153719-23-4			
化学式	C ₈ H ₁₀ ClN ₅ O ₃ S	分子量	291.7	
構造式				
概説	<p>チバガイギー社（現シンジェンタ社）が開発したピレスロイド系殺虫剤で、2008年8月に登録された。野菜、果樹、芝のアブラムシ類、カメムシ類、コガネムシ類等の広範囲な害虫種に効果がある。</p> <p>代表的商品名：アクタラ、ビートルコップ等</p>			
物性・性状	外観等	白色粉末、無臭		
	融点（沸点）	139.1℃	蒸気圧 2.7×10 ⁻⁹ Pa (20℃) 6.6×10 ⁻⁹ Pa (25℃)	
	水溶解度	4.1×10 ⁶ μg/L (25℃、pH7)	オクタノール/ 水分配係数	logPow = -0.13 (25℃)
	土壌吸着係数	K _f ^{ads} _{oc} = 16-32 (25℃)	生物濃縮性	—
	加水分解性	安定 (20℃ ; pH1、5) 半減期 1,114 日 (pH7 20℃) 1,253 日 (pH7 20℃) 7.3 日 (pH9 20℃) 15.6 日 (pH9 20℃)		
	水中光分解性	半減期 2.29-3.08 日 (東京春季太陽光換算5.9-7.9 日) (滅菌緩衝液、pH5、25℃、39.8W/m ² 、300-400nm) 4.4 時間 (東京春季太陽光換算1.0 日) (滅菌蒸留水、25℃、47.9W/m ² 、300-400nm) 4.3 時間 (東京春季太陽光換算1.0 日) (自然水、pH7.7、25℃、49.4W/m ² 、300-400nm)		
安全性	急性経口毒性は LD ₅₀ : 1563mg/kg (ラット♂)、1563mg/kg (ラット♀)			
生産量	原体の出荷量は、47.9t (平成28年度*)、48.4t (平成29年度*)、46.1t (平成30年度*) *年度は農薬年度			

出典：農薬ハンドブック 2016年版 一般社団法人日本植物防疫協会

農薬要覧-2019- 一般社団法人日本植物防疫協会

国立研究開発法人 国立環境研究所 化学物質データベース

URL: https://www.nies.go.jp/kisplus/src_chem/chem/

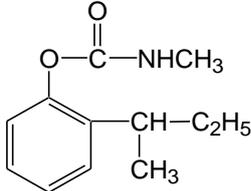
環境省水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

URL: <http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/305thiamethoxam.pdf>

環境省水質汚濁に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/odaku_kijun/rv/t04_thiamethoxam.pdf

表 5-6 フェノバルブ(BPMC)の情報

名称	フェノバルブ (BPMC)			
化学名	(RS) - 2 - センダリブチルフェニル = メチルカーバメート			
CAS No.	3766-81-2			
化学式	C ₁₂ H ₁₇ NO ₂	分子量	207.3	
構造式				
概説	<p>クミアイ化学工業(株)が開発したツマグロヨコバイ、ウンカ類に効果のあるカーバメート系殺虫剤として、1968年9月に登録された。現在の原体会社は日本農薬(株)および住友化学(株)である。</p> <p>代表的商品名：バッサ等</p>			
物性・性状	外観等	白色固体、わずかな芳香臭 (23℃)		
	融点 (沸点)	31.4℃	蒸気圧 9.9×10 ⁻³ Pa (20℃) 8.5×10 ⁻² Pa (40℃)	
	水溶解度	4.2×10 ⁵ μg/L (20℃)	オクタノール/ 水分配係数	logPow = 2.67 (25℃)
	土壌吸着係数	K _F ^{ads} _{oc} = 150-220 (25℃) K _F ^{ads} _{oc} = 130-660 (20℃)	生物濃縮性	—
	加水分解性	半減期 1年以上 (pH4、25℃) 566日 (pH7 25℃)、12日 (pH7 50℃) 3.3日 (pH7 60℃)、1日 (pH7 70℃) 18日 (pH9 20℃)、7.8日 (pH9 25℃) 6日 (pH9 30℃)、17日 (pH9 20℃) 2.1日 (pH10 20℃)		
	水中光分解性	半減期 60.5日 (東京春季太陽光換算468日) (蒸留水、25℃、765W/m ² 、300-800nm) 36.8日 (東京春季太陽光換算285日) (滅菌自然水、25℃、765W/m ² 、300-800nm)		
安全性	急性経口毒性は LD ₅₀ : 524mg/kg (ラット♂)、425mg/kg (ラット♀)、182mg/kg (マウス♂)、173mg/kg (マウス♀)			
生産量	原体の出荷量は、29.6t (平成28年度*)、35.1t (平成29年度*)、21.0t (平成30年度*) *年度は農薬年度			

出典：農薬ハンドブック 2016年版 一般社団法人日本植物防疫協会

農薬要覧-2019- 一般社団法人日本植物防疫協会

国立研究開発法人 国立環境研究所 化学物質データベース

URL: https://www.nies.go.jp/kisplus/src_chem/chem/

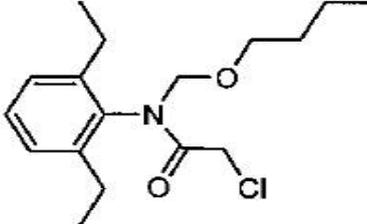
環境省水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h61_fenobcarb.pdf

環境省水質汚濁に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/odaku_kijun/rv/fenobkarubu.pdf

表 5-7 ブタクロールの情報

名称	ブタクロール		
化学名	N-ブトキシメチル-2-クロロ-2',6'-ジエチルアセトアニリド		
CAS No.	23184-66-9		
化学式	C ₁₇ H ₂₆ ClNO ₂	分子量	311.9
構造式			
概要	<p>米国のモンサント社が開発したアセトアニリド構造をもつ非ホルモン型土壌処理剤で水稲の初期除草に使用される。1973年5月に登録され、一度失効したが、1998年12月に再度登録された。現在原体はモンサント社が製造し、日本における販売権は日産化学(株)にある。</p> <p>代表的商品名：マーシェット (Machete)</p>		
物性・性状	外観等	無色透明液体、無臭	
	融点 (沸点)	<-25℃ (226℃で分解のため測定不能)	蒸気圧 2.5×10 ⁻⁴ Pa(25℃)
	水溶解度	1.6×10 ⁴ μg/L(20℃)	オクタノール/水分配係数 logPow = 4.42(25℃)
	土壌吸着係数	K _F ^{ads} _{oc} =1,300-4,400 (25℃)	生物濃縮性 BCF _{ss} = 160 (130 μg/L)
	加水分解性	半減期 分解せず (pH3、6、9 ; 25℃)	
	水中光分解性	半減期 17.2日間 (東京春季太陽光換算 74.1日) (滅菌蒸留水、25℃、425 W/m ² 、300-800 nm) 15.4日 (東京春季太陽光換算 66.4日) (滅菌自然水、25℃、425 W/m ² 、300-800 nm)	
安全性	急性経口毒性は LD ₅₀ : 2,620mg/kg (ラット♂)、3,050mg/kg (ラット♀)、4,140mg/kg (マウス♂)、5,030mg/kg (マウス♀)		
生産量	原体の出荷量は、124.0t (平成28年度*)、133.1t (平成29年度*)、135.3t (平成30年度*) ※年度は農薬年度		

出典：農薬ハンドブック 2016年版 一般社団法人日本植物防疫協会

農薬要覧-2019- 一般社団法人日本植物防疫協会

国立研究開発法人 国立環境研究所 化学物質データベース

URL: https://www.nies.go.jp/kisplus/src_chem/chem/

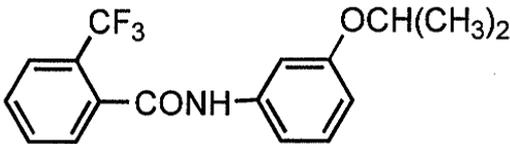
環境省水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h63_butachlor.pdf

環境省水質汚濁に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/odaku_kijun/rv/h51_butachlor.pdf

表 5-8 フルトラニルの情報

名称	フルトラニル		
化学名	α, α, α -トリフルオロ-3'-イソプロポキシ- <i>o</i> -トルアニリド		
CAS No.	66332-96-5		
化学式	C ₁₇ H ₁₆ F ₃ NO ₂	分子量	323.3
構造式			
概説	<p>日本農薬が抗紋枯病活性を示す化合物に共通する基本的構造はアミド結合であることを発見、アミド結合をもつ環状化合物の研究を進め開発した殺菌剤。イネの紋枯病に対して、長い残効性とともにより予防・治療両効果を兼ね備え、発病茎、株の増加する水平進展の時期から上位葉鞘に病斑が拡大する垂直進展の時期まで幅広く安定した効果を示す。野菜の苗立枯病（リゾプス菌）ほか各種作物の病害防除に使われる。商品名はモンカットほか。</p>		
物性・性状	外観等	白色固体結晶、無臭	
	融点（沸点）	101.2 - 103.2 °C (256 °C)	蒸気圧 6.54 × 10 ⁻⁶ Pa (25 °C)
	水溶解度	6.63 × 10 ³ μg/L (20 °C)	オクタノール/ 水分分配係数 logPow = 3.77 (25 °C)
	土壌吸着係数	K _{oc} = 313 - 743 (25 °C)	生物濃縮性
	加水分解性	分解せず (pH5, 7 及び 9 ; 25 °C)	
	水中光分解性	277 日 (滅菌緩衝液、25 °C、pH7、32.4 W/m ² 、300-750 nm) 分解せず (自然水、25°C、13.4-19.3 W/m ² 、280-500 nm)	
適用法規等	<p>化管法 第2条第1種指定化学物質 労働安全衛生法 施行令第18条の2〔名称等を通ずべき危険物及び有害物 (MSDS 対象物質)〕</p>		
安全性	<p>魚類 (コイ急性毒性) 96hLC₅₀ = 3,160 μg/L 甲殻類 (オオミジンコ急性遊泳阻害) 48hEC₅₀ > 6,800 μg/L 藻類 (<i>Pseudokirchneriella subcapitata</i> 生長阻害) 72hErC₅₀ > 3,150 μg/L</p>		
生産量	<p>原体の出荷量は、75.2t (平成28年度*)、72.9t (平成29年度*)、 54.3t (平成30年度*) *年度は農薬年度</p>		

出典：農薬ハンドブック 2016年版 一般社団法人日本植物防疫協会

農薬要覧-2019- 一般社団法人日本植物防疫協会

国立研究開発法人 国立環境研究所 化学物質データベース

URL: https://www.nies.go.jp/kisplus/src_chem/chem/

環境省水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h63_butachlor.pdf

環境省水質汚濁に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/odaku_kijun/rv/h51_butachlor.pdf

表 5-9 プレチラクロールの情報

名称	プレチラクロール			
化学名	2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド			
CAS No.	51218-49-6			
化学式	C ₁₇ H ₂₆ ClNO ₂	分子量	311.9	
構造式				
概要	<p>スイスのチバガイギー社（現シンジェンタ社）によって開発されたアセトアニリド構造をもつ非ホルモン型吸収移行性の水稲用初期除草剤である。1984年4月に登録された。</p> <p>代表的商品名：ソルネット、エリジャン（SOLNET、ERIJAN、RIFIT、SOFIT）</p>			
物性・性状	外観等	無色透明液体、無臭		
	融点（沸点）	55°C（27mPa）	蒸気圧 6.5×10 ⁻⁴ Pa(25°C)	
	水溶解度	74mg/L(25°C)	オクタノール/ 水分配係数	logPow = 3.9(25°C)
	土壌吸着係数	K _F ^{ads} _{oc} =398, 300-3, 362 (25°C)	生物濃縮性	BCF _{ss} = 280 BCF _k = 260 (40 µg/L)
	加水分解性	半減期 200日以上（pH1、5、7、9 25°C） 742時間（pH1 70°C） 514時間（pH7 70°C） 2.56時間（pH13 70°C）		
	水中光分解性	半減期 >20日（滅菌蒸留水、25°C、55W/m ² 、300-400nm） 約2日（東京春季太陽光換算約14日） （滅菌自然水、25°C、55W/m ² 、300-400nm） 15.7日（東京春季太陽光換算約50.7日） （滅菌自然水、25±2°C、25.1W/m ² 、300-400nm）		
安全性	急性経口毒性は LD ₅₀ : 3,600mg/kg（ラット♂）、2,200mg/kg（ラット♀）、2,300mg/kg（マウス♂）、1,800mg/kg（マウス♀）			
生産量	原体の出荷量は、129.5 t（平成28年度*）、129.4 t（平成29年度*）、126.1t（平成30年度*） ※年度は農薬年度			

出典：農薬ハンドブック 2016年版 一般社団法人日本植物防疫協会

農薬要覧-2019- 一般社団法人日本植物防疫協会

国立研究開発法人 国立環境研究所 化学物質データベース

URL: https://www.nies.go.jp/kisplus/src_chem/chem/

環境省水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h53_pretalachlor.pdf

環境省水質汚濁に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/odaku_kijun/rv/h11_pretilachlor.pdf

表 5-10 プロモブチドの情報

名称	プロモブチド		
化学名	(R,S)-2-ブromo-N-(α , α -ジメチルベンジル)-3,3-ジメチルブチルアミド		
CAS No.	74712-19-9		
化学式	C ₁₅ H ₂₂ BrNO	分子量	312.25
構造式			
概説	住友化学(株)によって開発されたベンジルブチルアミド構造を有する水田用初・中期土壌処理剤である。混合剤として1986年4月に登録された。 代表的商品名：各種混合剤の一成分 (Sumiherb)		
物性・性状	外観等	白色固体、無臭	
	融点 (沸点)	179.5℃ (約 190℃付近から分解(燃焼))	蒸気圧 5.92×10 ⁻⁵ Pa (25℃)
	水溶解度	3.54mg/L (25℃)	オクタノール/ 水分配係数 logPow = 3.46 (25℃)
	土壌吸着係数	K _F ^{ads} _{oc} = 163~306 (25℃)	生物濃縮性 -
	加水分解性	加水分解認められず (25℃、pH5, 7, 9、30日間)	
	水中光分解性	半減期 約13週 (滅菌蒸留水)、約11週 (滅菌自然水) (60-1640 μW/cm ² 、300-400nm、太陽光照射約8時間/日)	
安全性	急性経口毒性 LD ₅₀ : >5,000mg/kg (ラット、♂♀)、>5,000mg/kg (マウス、♂♀)。		
生産量	原体の出荷量は、498.9 t (平成28年度※)、502.5 t (平成29年度※)、497.4 t (平成30年度※) ※年度は農薬年度		

出典：農薬ハンドブック 2016年版 一般社団法人日本植物防疫協会

農薬要覧-2019- 一般社団法人日本植物防疫協会

国立研究開発法人 国立環境研究所 化学物質データベース

URL: https://www.nies.go.jp/kisplus/src_chem/chem/

環境省水産動植物の被害防止に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/sui-kaitei/kijun/rv/h18_bromobutide.pdf

環境省水質汚濁に係る農薬登録保留基準について

URL: http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/odaku_kijun/rv/h13_bromobutide.pdf